

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年12月3日～12月9日)

平成 27 年 (2015 年) 12 月 11 日

H E A D L I N E S

政治

憲法法院、与党主導の憲法法院判事人事に関する修正法案に違憲判決
シドゥウォ首相、V4首相会合及び「V4＋韓国」首脳会合に出席
ヴァシチコフスキ外相、OSCE外相会合に出席
ポーランド外務省、ロシアとの記念碑を巡る問題に関する声明を発表
シャトコフスキ国防次官、コテレツ・スロバキア国防副大臣と面会
核兵器プログラム参加検討に関する国防省の発表
2014年ポーランドからの武器輸出17.4%上昇
シャワマハ財務相、EUによるトルコ滞在難民に対する財政支援への参加を明言
ソロフ国家安全保障局長のNATO本部訪問

経済

児童手当の予算は161億ズロチ
ASEANとの関係強化
2016年末の失業率は9%見込み
国営企業の人事刷新相次ぐ
11月の新車登録は対前年同月比＋25%
住友金属鉱山、KGHMとの協力について語る
新コンパニア・ヴェングロヴァ社は来年3－4月に立ち上げ
リトアニア・ポーランド間の送電開始

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について
ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

憲法法廷、与党主導の憲法法廷判事人事に関する修正法案に違憲判決【9日】

9日、憲法法廷は、11月に成立した与党「法と正義」(PiS)主導の憲法法廷判事5名の人事を新たに行うことを可能とする修正法案が多くの部分において違憲であるとの判決を下した。具体的には、上記法案が前政権下の11月6日に任期が満了した3名の判事の後任を新たに選出することを可能とする部分等が違憲であるとの判断が示された。

一方、同日、ドゥダ大統領は上記法案に基づいて新政権が選出した5名の裁判官の最後の1名の宣誓を受け入れた(4名の宣誓は3日に実施済)。

10日、ケンパ首相府長官は、ジェプリンスキ憲

法法廷長官に書簡を送付し、3日の関連の憲法法廷判決への疑義を表明すると同時に、右判決の政府官報への掲載を当面見合わせる方針を示した。他方、11日、ヴィテク政府報道官は右方針を修正し、判決が政府官報に掲載される旨発言した。

上記ように、憲法法廷人事を巡っては、政府及び大統領が独自の解釈で対応し、憲法法廷の判決が尊重されていない状況にあり、日々混乱した状況が続いている。本件に関し、ブキッキオ欧州評議会ベニス委員会議長は、状況を関心と懸念をもって注視している、本件問題が憲法法廷の判決に基づく形で解決されることを期待する旨のコメントを出している。

外交・安全保障

シドゥウォ首相、V4首相会合及び「V4+韓国」首脳会合に出席【3日】

3日、シドゥウォ首相がプラハで開催されたV4首相会合及び「V4+韓国」首脳会合に出席した。V4首相会合では、テロとの戦い、エネルギー安全保障、移民問題及びシェンゲン領域境界の安全確保に関する意見交換が行われた。「V4+韓国」首脳会合に関し、シドゥウォ首相は、韓国との経済関係の強化はV4地域の潜在力の発展にとって重要である、右潜在力は平和、安全保障、地域の未来に関する共通のビジョンの下に構築されなければならない旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相、OSCE外相会合に出席【3日・4日】

3日・4日、ヴァシチコフスキ外相は、ベオグラードにて開催されたOSCE(欧州安全保障協力機構)外相会合に出席し、ウクライナ東部情勢、移民問題、国際社会の課題等に関する議論に参加した。ヴァシチコフスキ外相は、OSCEの基本原則の遵守義務が欧州における信頼及び協力の再建の条件となる旨述べた。

ポーランド外務省、ロシアとの記念碑を巡る問題に関する声明を発表【4日】

4日、ポーランド外務省は、ロシアとの旧ソ連関連の記念碑の取り扱いを巡る問題に関する声明を発表した。ポーランド外務省は、ポーランドは1994年の二国間協定に基づく形でロシア人墓地を然るべく管理・維持・修復してきた点を強調すると共に、墓地の一部でない旧ソ連関連の象徴的な記念碑には上記協定が適用されない点を明確にし、ロシア側に冷静な対応を呼びかけた。

シャトコヴスキ国防次官、コテレツ・スロバキア副大臣と面会【4日】

2日、シャトコヴスキ国防次官はスロバキアの首都ブラチスラバを訪問し、コテレツ国防副大臣と武器及び装備の分野での二国間国防協力の強化、V4協力での優先分野、V4EU戦闘グループ、参加国の国防力強化及び来年ワルシャワで開催されるNATO首脳会合でのプライオリティーについて協議を行った。

核兵器プログラム参加検討に関する国防省の発表【4日】

3日、シャトコヴスキ国防次官が述べたNATOの核兵器共有プログラムへの参加を検討している旨の発言に対し、4日、国防省は、国防次官の発言はNATO東側の核抑制能力に不足があるという西側の主要分析センターによる最近のコメントの文脈で理解されるべきである、また、様々な選択肢を考慮する必要はあるが、ポーランドは核兵器不拡散条約(NPT)に署名しており、ポーランド政府はそのような兵器を保有する計画はない旨の発表を行った。

2014年ポーランドからの武器輸出17.4%上昇【7日】

7日、外務省の発表によると、2014年のポーランドからの武器輸出は昨年比17.4%上昇し、総額4億ユーロとなった。

シャワマハ財務相、EUによるトルコ滞在難民に対する財政支援への参加を明言【8日】

8日、シャワマハ財務相は、ブリュッセルにて、ポーランドが計30億ユーロのEUによるトルコ滞在難民に対する財政支援の分担額を支出する意向を表明した。欧州委員会の提案では、ポーランドの負担

額は7,120万ユーロである。同財務相は、ポーランドは移民問題を発生地近くで解決する方法を支持している旨述べた。

7ー8日、ソロフ国家安全保障局長は、NATO本部を訪問し、NATO幹部高官と面会し、来年ワルシャワで開催されるNATO首脳会合の準備について協議を行った。

ソロフ国家安全保障局長のNATO本部訪問【8日】

経 済

経済・財政政策

児童手当の予算は161億ズロチ【3日】

ポーランド政府ウェブサイトによれば、新政府の公約のうち児童手当（第2子目以降一人当たり500ズロチ／月）にかかる2016年予算は161億ズロチ、2017年は201億ズロチとなる見込み。労働省によれば、予算総額は10年間で2,203億ズロチを見込んでいる由。

ASEANとの関係強化【8日】

8日に開発省で開催された会議で、モラヴィエツキ開発大臣は、ポーランドはASEANと中欧の貿易のハブ、ひいてはASEANとEUの窓口になりたいと挨拶。ポーランドの高水準で低価格の製品、EU共通市場へのアクセスなどASEANに提供できるものは多く、現在抱える対ASEAN貿易赤字を解消したいと述べた。

マクロ経済動向・統計

2016年末の失業率は9%見込み【7日】

労働副大臣によれば、季節労働が終わりを迎える11月頃から失業率は0.1ポイント程度上がり、20

15年末には9.8～10%となる見込み。しかし、労働市場に対する支援の実施により、2016年末には失業率は9%まで下がるとの見通し。

ポーランド産業動向

国営企業の人事刷新相次ぐ【3日～9日】

国営企業の役員人事が相次いでいる。すでに、資源・エネルギー、保険等各社でCEOの交代が発表されており、今後もこうした動きが予定されているという。専門家はこうした動きについて、政府の経済政策に沿ったものとするためだと指摘している。

11月の新車登録は対前年同月比+25%【4日】

SAMAR INSTITUTE の発表によれば、11月の新車登録（自家用車、業務用車両）は35,327台で対前年同月比25.08%増。前月比では3.86%増。

エネルギー・環境

住友金属鉱山、KGHMとの協力について語る【8日】

Puls Biznesu 紙は、住友金属鉱山へのインタビュー記事を掲載した。インタビューの中で、同社後根資源本部長はポーランドでの政権交代がチリ・シエラ・ゴルダ鉱山へ与える影響はないだろうと語った。また、同鉱山における事業を継続し、成長を確かなものとしたいことや今後ともKGHM社が主体的に関与することへの希望等を語った。

プマン欧州委員会競争総局次長と新コンパニア・ヴェングロヴァ社について意見交換を行った。在EUポーランド代表部はプレスリリースの中で、欧州委員会に対し新コンパニア・ヴェングロヴァ社が来年3ー4月頃立ち会あがる予定であり、現在欧州委員に提出している支援要請についても変更される見込みであると通知したと述べている。

新コンパニア・ヴェングロヴァ社は来年3ー4月に立ち上げ【8日】

ブリュッセルを訪問したトビシェフスキ・エネルギー副大臣とコヴァルチク国有財産副大臣は、クー

リトアニア・ポーランド間の送電開始【8日】

ポーランドの送電会社PSEは、リトアニアとポーランドの間をつなぐ系統線LitPol Linkによる送電を開始したことを発表した。初日にはポーランドからは約1,815MWがリトアニア側に、リトアニア側からは約86MWが送られたという。

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji_anketo20151106.html

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事**【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】展覧会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: シロンスク県, グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a

詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

【開催中】「日本に魅了されて」墨絵・紙人形・油彩展【12月2日(水)～1月15日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本からインスピレーションを受けたポーランド人アーティストによる墨絵・紙人形・油彩展が開催中です。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：
info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【開催中】国際現代デッサン・フェスティバル「Think Tank lab Triennale」【12月3日(木)～1月3日(日)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ市美術大学主催による国際現代デッサン・フェスティバル『Think Tank lab Triennale』にて、日本とポーランドの現代アーティストによる「Two Sticks」展が開催中です。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市、pl. Polski 3/4

詳細：<http://ttt.wroclaw.pl/en>

【予定】水曜映画上映会「カルテット！」【12月16日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「カルテット！」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp（ご連絡は電子メールでお願いします。）